

●いろはがるた 四

次の文はいろはがるたです。意味を後ろから選んで記号で書きましよう。

- ①なす時の闇魔顔 (オ)
- ②習わぬ経は読めぬ (ウ)
- ③無理が通れば道理引っ込む (ケ)
- ④無芸大食 (ア)
- ⑤嘘から出た真 (キ)
- ⑥氏より育ち (エ)
- ⑦芋の煮えたもご存じない (ク)
- ⑧喉元過ぎれば熱さを忘れる (コ)
- ⑨鬼に金棒 (イ)
- ⑩負うた子に教えられて浅瀬を渡る (カ)

ア、何も身に付けた芸を持たないで、ただ大食する人をあざけていう語。

イ、強いうえにもさらに強さがくわわることのたとえ。

ウ、知らないことをいくらやれと言われてもできないこと。

エ、生まれや家柄よりも子供から大人になる間の環境・教育が人柄に影響するところが多い。

オ、借りるときにはにこにこして借りても、返済するときには不愉快な顔つきをする人情をいう。

カ、時には、自分よりも年下の者や未熟なものから教えられることがあるたとえ。

キ、初めはうそのつもりで言ったことが、偶然、事実となることにいう。

ク、物事に無知またはうかつなことにいう。

ケ、無理なことが世に行われれば、道理にかなったことは行われなくなる。

コ、苦しかったことも、過ぎ去れば、全く忘れてしまうことのたとえ。また、苦しいときには人を

頼み、苦しさが去れば、その恩を忘れることにいう。